

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



飯田唯華ちゃん(左)
 俐月くん(右)
 (令和元年7月生まれ
 令和3年2月生まれ・女沼)
 相思相愛いつも一緒。食べるの大好き健康優良児！
 (父：太郎、母：杏澄美)



永塚亜花莉ちゃん
 (令和3年9月生まれ・磯部)
 家族みんな、あかりちゃん
 の笑顔で毎日が幸せだよ！
 (父：安正、母：仁美)



伊藤莉杏ちゃん
 (令和4年2月生まれ・西牛谷)
 毎日癒やされてます♡生ま
 れてきてくれてありがとう！
 (父：秀兵、母：莉奈)



針谷蓮斗くん
 (令和3年7月生まれ・茶屋新田)
 ニコニコで暴れん坊です！
 これからも元気に育ってね
 (父：倅太、母：紗英)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課☎92-3111)へ申し込みください！



わたしの夢

動物の命を救う獣医に

鳥海由衣さん 小堤小学校6年生

わたしの夢は獣医になることです。動物のことがとても好きなので動物に関わることをしたいと思ったからです。きっかけは動物病院を特集したテレビでした。そこには、病気やケガをしている動物の命を獣医が救っている姿がありました。「動物は、しゃべることができないからこそ、助けてあげたい」ということを聞いて、わたしも獣医になって動物の命を救いたいと思うようになりました。そのために、動物について勉強し、動物の命を救う獣医になりたいです。



キラリ 古河ビト

農業を通して人と人をつなぐ

(有)森ファームサービス
 森はる菜さん(37歳・上片田)

農産物の生産だけでなく、加工・販売、収穫体験イベントの開催など、農業を中心としたさまざまな取り組みを行っている(有)森ファームサービス。主に事務や接客、デザイン作成などの業務を担当し、勤続14年目となる森さんに、農業を通して伝えたい思いを伺いました。

市内で代々続くお米農家に生まれた森さん。幼い頃から農業を身近に感じながら育ってきました。今は美術大学で学んだ知識を生かし、商品の顔とも言えるパッケージやチラシの作成を担当し、森ファームに欠かせない存在となっています。新鮮野菜やそばが楽しめる農園内のレストラン「ゆるりの森」では、デンマークで学んだ陶芸の技術を生かしたオリジナルの陶器が使用されています。商品開発からデザインまで自身で行い、自分のアイデアが形になった瞬間の喜びは、仕事をする上での大きな原動力になっているそうです。森ファームではさまざまなイベントを開催しており、中には20年以上続いているものもあります。毎年参加してくれる子どもたちも多く、来るたびに成長した姿を見ることが何よりうれしいと森さんは話します。ここ数年のコロナ禍で、人との触れ合いが減ったことに寂しさを感じながらも「自分たちで育てた作物が人の命を作っていると感じられる瞬間がこの仕事の魅力。ただ生産するだけでなく、人とのつながりを大切にしたい」と語ってくれた森さん。その真剣なまなざしからは、会社の理念でもある「皆さまのふるさとに「なりたい」という温かく真つすぐな思いが感じられました。



▲チラシのデザインをする森さん



▲地元の土を混ぜて作成した茶碗



▲森さんがデザインした商品パッケージ